

山口大学 リサーチファシリティ マネジメントセンター

Research
Facility
Management
Center
Yamaguchi
university



山口大学リサーチファシリティ マネジメントセンターの概要

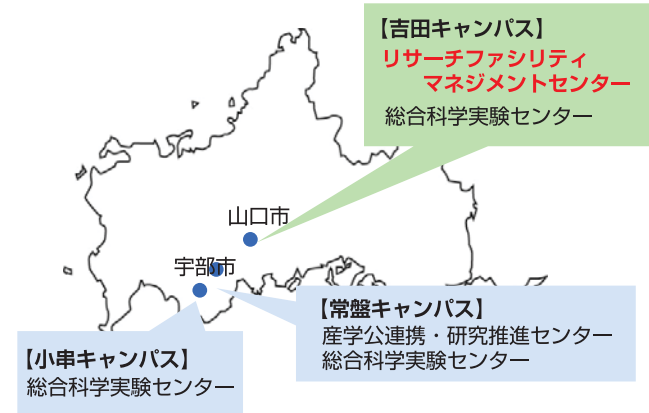
■職員

- (1) センター長: 副学長(学術研究担当)
- (2) 副センター長: 副学長(人事労務担当、財務施設担当)
- (3) センター所属の事務職員及びセンターを兼務する事務職員
- (4) センターを兼務する大学教育職員
- (5) センターを兼務する教育研究系技術職員
- (6) その他センター長が必要と認めた者

■審議機関



■部門



■お問い合わせ

山口大学リサーチファシリティ マネジメントセンター事務局

〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1
TEL: 083-933-5258
FAX: 083-933-5810
E-mail: sh082@yamaguchi-u.ac.jp

●受付時間 / 9時～17時まで

URL <http://facility.yamaguchi-u.ac.jp/index.html>

2021年12月作成

【山口大学方式】を通じた機器共用化の推進

「共用機器の直轄管理方式」と「部局・研究室所有機器の所属と管理・運用の分離方式」を併せた【山口大学方式】を通じた機器共用化の推進

共用機器の直轄管理方式

【全学施設】

＜総合科学実験センター＞



大学直轄管理共用機器



部局・研究室所有機器の所属と管理・運用の分離方式

【部局等】

＜学部・研究科・研究室＞



部局等所属機器



管理・運用

リサーチファシリティマネジメントセンターを中心に、共用機器の一体的管理・運用を推進

【山口大学方式】

大学経営的視点から見た「山口大学方式」の主なメリット

1. 組織として研究基盤整備計画を直接実行でき、迅速に意思決定や計画が実行できる。
2. 既に部局や研究室が所有する先端機器を学内で共用化することについて、各部局の協力や合意を得ることができる体制が整備されているため、学内での同一機器購入による2重投資を回避することができる。
3. 機器共用化を推進することにより、独自に学部や研究室が所有する高度な研究機器の管理・運用に関する負担軽減並びにリソースの有効活用を図ることができる。

山口大学における「コアファシリティ構築支援プログラム」の概要

山口大学では、令和2年度に文部科学省から「先端研究基盤共用促進事業（コアファシリティ構築支援プログラム）」の採択を受け、事業を開始しました。本事業において、学長直下に大学の共用システムを構築・運用する中央司令塔（統括部局）を新設し、学部・研究科等、組織ごとに管理されている研究設備・機器を、研究機関全体の研究基盤として戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化（コアファシリティ化）することを目標としています。

「目標」・達成された時の「姿」

「リサーチファシリティマネジメントセンター」が共用システムの中央司令塔として機能

- 学長のリーダーシップが施策に反映しやすく、スピード感がある意思決定や実行が可能となっている。
- 部局や学科帰属の機器を含めた全学の共用化が推進されている。

教育研究系技術職員が高度専門技術者集団として本学の研究力の向上に大きく貢献

- マネジメントトラックとマイスタートラックのダブルトラック制によるキャリアパスが確立されている。
- 職位・職階制度による待遇改善やテニュアトラック制度の導入により、教育研究系技術職員の若返りと技術伝承の双方が推進されている。

戦略的な機器共用システムのスクラップ&ビルドが継続的に実行され、経営資源が好循環

- 「山口大学方式」の長所を活かしつつ、需要の変化に対応して、共用システムの再編により効果的な運営が行われている。
- 自己財源の確保と機器利用料収入の毎年度10%増を実現し、さらなる機器整備の財源に充当するという好循環が生まれ出されている。

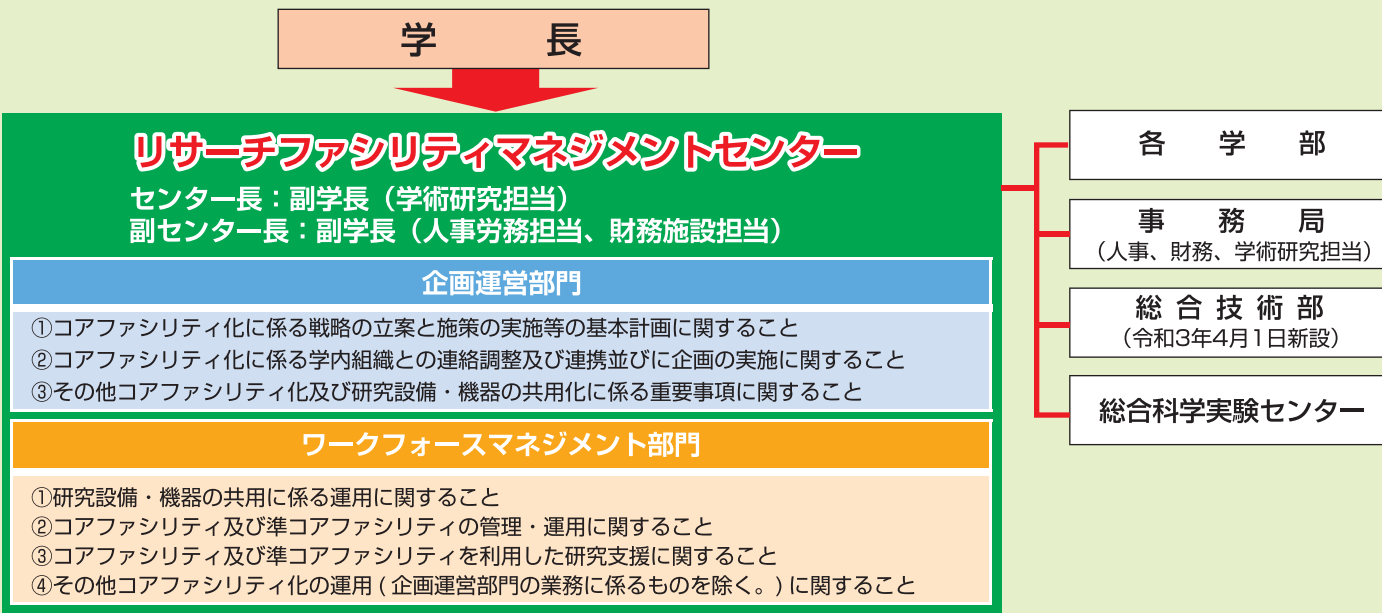
目標達成に向けた、取り組み

- ①学長直下に「リサーチファシリティマネジメントセンター」を設置し、人事労務・財務施設・学術研究担当副学長（理事）を中心とした「コアファシリティ全学協働体制」を構築し、トップダウンによるマネジメントを行う。
- ②全学の教育研究系技術職員を集約・組織化し、「総合技術部」を新設する。
- ③既存の機器共用体制の長所を残しつつ、時代の変化に対応したスクラップ&ビルドによる組織・体制の見直しを継続的に実施する。

これらの取組を地方の大学の分散キャンパスの先進的なモデルとして、全国にアピールできるよう、「山口大学方式」の特色を分かりやすく打ち出した形で事業を実施し、成果の発信と普及を行います。

リサーチファシリティマネジメントセンターの設置 令和3年1月1日新設

山口大学では、大学の共用システム構築の中央司令塔として「リサーチファシリティマネジメントセンター」を新設し、コアファシリティのマネジメントに関わる方針や施策を企画・立案し、各部局等に指示、または連携・共同して研究設備・機器の共用を実施します。これにより、全学の研究基盤整備のステークホルダーが一体で対応する「コアファシリティ全学協働体制」を構築します。



総合技術部の設置

令和3年4月1日新設

全学の教育研究系技術職員を集約・組織化し、人的リソースの管理・運営やキャリアパスの一元的マネジメントを行うことにより本学の研究力の向上に寄与する体制として「総合技術部」を新設しました。
(5課10グループで構成)

